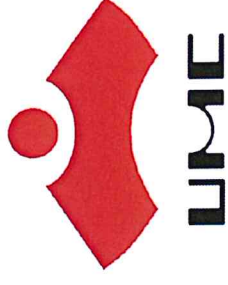




This is our Communication on Progress  
in implementing the principles of the  
United Nations Global Compact.

We welcome feedback on its contents.



# ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社

## Communication on Progress 2012年度

対象期間：2011年7月～2012年6月迄

## トップステイトメント

- ユー・エム・シー・グループは、電子部品実装のアウトソーシング企業(EMS事業)で、民生用・産業用・車載向け電子機器の設計、開発、製造、販売をグローバルに展開致しております。

- 連結売上高：2011年度 売上高 784億円、営業利益 12億円
- 全従業員数：約9,103名 (2012.3現在)

当社は、2010年7月にグローバル・コンパクト(GC)に加盟し、グローバル・コンパクト及びその10原則を支持して企業活動を進めております。

- 当社におけるGC4原則に関わるこれまでの取り組み

- ・ 当社は、GC4原則の一つである環境原則(環境マネジメントシステム)への取り組みとして、2002年に日本・中国にてISO14001を取得し、2008年 ベトナムにてISO9001,14001を取得。化学物質の削減、有鉛半田の削減等により、世界水準の環境保全に取り組み続けています。
- ・ 又、労働基準原則への取り組みとして、2000年 中国、2007年 ベトナムにて工場稼動開始に伴い、2002年 中国にてOHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)を取得。雇用や環境において、調和のとれた地域発展への貢献すべく活動を継続しております。

- 本年度のGC4原則に関する活動

- ・ 環境分野においては、節電による省エネルギー活動、廃棄物リサイクルの促進を図りました。又、労働基準分野・人権分野では、労働時間の効率的短縮(生産性向上)、職場環境の改善促進、更には地域貢献活動の一環として近隣の道路清掃等を定期的に実施しております。今後もグローバル・コンパクトの理念や活動を通じて、更なる社会貢献を行って参ります。

## 会社概要

日本	<p>社名 : ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社</p> <p>設立 : 1968年1月 資本金: 298百万円 決算期: 3月</p> <p>従業員 : 912名(国内) 代表取締役社長: 内山 茂樹</p> <p>拠点 : 本社、本社工場、上尾工場、宮崎工場、物流センター、Spiral Up営業所、VAS営業所、VCM営業所</p>
中国	<p>社名 : UMC Electronics Hong Kong Limited 三和盛香港高科技有限公司(中文名)</p> <p>設立 : 2000年6月 資本金: 3,800万USD 決算期: 12月</p> <p>従業員 : 6,276名 董事長: 柏木亮二</p> <p>拠点 : 香港、中国・東莞工場、中国・深圳工場</p>
ベトナム	<p>社名 : UMC Electronics Vietnam Limited</p> <p>設立 : 2006年11月 資本金: 1,980万USD</p> <p>従業員 : 1,913名 社長: 高田 昭人</p> <p>所在地 : Tan Truong Industrial Zone, Cam Giang Dist, Hai Duong Province, VIETNAM</p>
タイ	<p>社名 : UMC Electronics (Thailand) Limited</p> <p>設立 : 2011年1月 資本金: 19,440万THB</p> <p>従業員 : 2名 代表取締役社長: 内山 茂樹</p> <p>所在地 : 5D Tower A, 29/1 Piya Place Langsuan Building Soi Langsuan, Ploenchit Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand</p>



## 人権分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <p>■工場において軽作業を通じて、障害者の方が働く機会を作り出す。</p> <p>■男女・国籍・出身地域・民族を問わない能力主義での人材登用。</p>	<p>○本社工場および宮崎工場にて障害者の方を採用。</p> <p>○従来より、公正な人材登用を実施。</p>	<p>■引き続き、本社工場及び宮崎工場での障害者の方の雇用を継続し、障害者の方の働く機会を増やしていく。</p> <p>■人材教育の充実によりさらなる現地スタッフ登用の機会を増やす。</p>

## 労働基準分野に関する活動報告(1/2)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【全社】</p> <p>■労働時間の効率的な短縮を行い、従業員が心身の健康の維持増進することでの労働生産性を上げる職場環境を提供する。</p> <p>■5Sパトロール、意見箱などを通じ、職場環境の改善(暑さ、寒さ対策)、食事の改善などに努める。</p> <p>■安全衛生委員会を設置し、職場の安全性確保に努め従業員の安全衛生向上に努める。</p> <p>■職場のハラスメントを防止し、従業員が不必要なストレス無く労働生産性を向上できる環境を作る。</p>	<p>○長時間労働者に健康管理・残業改善の為にインタビューを実施し、職場環境改善に反映</p> <p>○5Sパトロール、意見箱を通じた職場改善提案が浸透</p> <p>○安全衛生委員会での活発な論議を通じて職場の安全衛生改善に反映</p> <p>○ハラスメント防止規程として一般化。</p>	<p>■残業時間管理及び健康管理の徹底を図り、労働生産性の向上と従業員の健康維持増進を図る。</p> <p>■職場改善提案活動の全社展開を一層促進していく。</p> <p>■全拠点で安全衛生委員会を設置し、従業員の安全衛生向上に努める。</p> <p>■来年度も継続して実施する。</p>

## 労働基準分野に関する活動報告(2/2)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>【中国】</p> <p>■労働関連の法令変更に対応</p> <p>■新労働法遵守（2008年1月から実施）</p> <p>■休日残業を中心とする労働時間の短縮化</p>	<p>○最低賃金変更（2012年2月～）に対応</p> <p>○組織の規律の遵守徹底を行った。</p> <p>○新システムを導入（2011年9月～）したことで、資材調達、設備稼働状況、人員過不足状況を踏まえた生産計画の精緻化が可能となり、祝休日の生産活動を限定した。</p>	<p>■労働関連の法令遵守を維持継続する。</p> <p>■規律の遵守徹底を維持継続する。</p> <p>■休日残業の短縮活動を維持継続する。</p>



## 環境分野に関する活動報告 (1/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>【全社】</b> <b>■</b> 節電による省エネルギー活動の推進する。 <b>■</b> 危険物管理の徹底 <b>■</b> 廃棄物リサイクルの分別管理	○消費電力を徹底管理して節電実行。 ○危険物管理の徹底・浸透を遂行。 ○紙とダンボール等の分別管理を徹底。 ○道路及び工場周辺の清掃を実施。	<b>■</b> 省エネルギー活動を継続強化する。 <b>■</b> 危険物保管庫の貯蔵量管理を徹底する。 <b>■</b> 廃棄物リサイクル管理を継続強化する。 <b>■</b> 今後も定期的に道路清掃及び工場周辺の清掃を継続実施する。
<b>【中国】</b> <b>■</b> CO2削減	○2011年度 排気量319,012.16KG/売上US1M (前年比▲10.00%削減)	<b>■</b> CO2削減活動を継続強化する。

## 環境分野に関する活動報告(2/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>■節電省エネルギー</b> 1) AIR機に追加交換機、柴油を使用せず、熱を利用して、シャワー用のお湯を作る。	○節約費用:RMB 12万元/月(東莞工場)	<b>■</b> 来年度も継続して実施する。
2) リフロー炉周辺の壁上部に耐熱カーテンを張り、周りの温度が上がるのを防いだ。	○電気代節約費用:3万元/月	<b>■</b> 来年度も継続して実施する。
3) 冷媒で夜間に冷水を作って、昼に供給した。	○節約可能費用: 6.6万元/月	<b>■</b> 来年度も継続して実施する。
4) 利用冬季節12月、1月、2月 エアコンを止めて、外部空気を利用して送風をする。(東莞工場間接部門)	○節約可能費用: 1.4万元/月	<b>■</b> 今後(来年度)も継続実施する。
5) 生産の状況に応じて、空圧機とN2機の稼動をコントロールした。	○節約費用: 2万元/月	<b>■</b> 来年度も継続して実施する。



## 環境分野に関する活動報告(3/3)

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<p>6) 生産の状況を見て、必要ない照明灯は消すようにした。また、通路やオフィス内の電灯を間引した。</p> <p>【中国】</p> <p>■ 環境改善</p> <p>1) トルエン使用に関して、代替品に切替を行うことで使用量を削減した。</p> <p>2) コーティング工程において、コーティング装置導入および排気設備増設を行った。生産工程を自動化したことで作業者の作業環境が改善した。</p>	<p>○ 電気代節約費用： 3万円/月</p> <p>○ トルエン使用量を削減したことで環境への負荷が軽減した。</p> <p>○ 作業者の健康と安全の確保をするこ とが出来た。</p>	<p>■ 来年度も継続して実施する。</p> <p>■ 来年度も継続して実施する。</p> <p>■ 来年度も継続して実施する。</p>

## 腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	結果・評価	来年度の活動目標・内容
<b>【全社】</b> <b>■</b> 反社会勢力対応の規程の周知	○ 反社会勢力との関係遮断に関する規程を制定した。	<b>■</b> 社員教育で規程の周知徹底を図っていく。 <b>■</b> 入社時教育にて、金品の授受に係わるモラル教育の実施と、違反者発生時の断固たる処置及び掲示を図る。

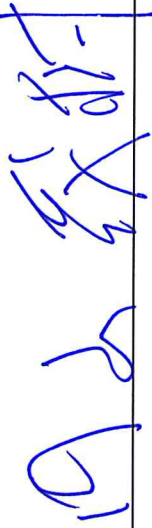
このコミュニケーション・オン・プログレスの報告内容をどのようにステークホルダーに伝えますか。

自社のWEBサイトに掲載する。

2012年7月13日

ユー・エム・シー・エレクトロニクス株式会社  
〒362-0022 埼玉県上尾市瓦葺721

代表取締役社長 (CEO・COO)

  
 \_\_\_\_\_